

出席者：越島(四街道)・傍島(柏)・宮崎(赤いくつ)

伊藤(こくぶんじ)・島田(浦安るーぺ)・松島(のあざみ)・由井(こだまの会)

菅野(こだまの会)・奥野(鶴見ルーペ)・松宮(視援奉)・付岡(赤いくつ)

雪本(さわやか)・當眞(越谷)・深味(赤いくつ)・小堀(豊明)

日時：2024年3月27日(水)14:00～15:30

審議事項

1. デジタル教材(QRコード)の取り扱いについて

- * PDFデータからコピーして貼り付けているグループが多い。
貼り付け時に、QRコードがきちんと読み取れるか写本者が確認する。
また、校正者もQRコードをスマホで読み取り確認するグループもあり。
- * 写本ページが複数枚になった時に、どこにQRコードを掲載するかで悩ましい物もある。予め、QRコードの掲載位置を決めてしまうのも有効。
- * 一部の教科書は、QRコードが4月以降でないと接続できないため、上記の確認作業ができない場合があって不安。
- * 新聞報道によると(3/23,朝日・読売)、2025年春から使用される中学校教科書に掲載されるQRコードは大幅に増加する。(東京書籍・数学は前回の34倍、光村・英語は前回の7倍等)

2. その他 自由討論

- * Q) 能登地震によって、拡大教科書が届かないケースはありますか。
A) 全国拡大では、情報として聞いていない。
- * 都道府県によって、拡大教科書の依頼が全くないところもある。全国の地区町村の教育委員会や学校での拡大写本の認知度が上がってないのでは。
- * 年度初めには、拡大教科書と一緒に拡大教科書の特徴・仕様を説明する手紙を添えている。

次回のZOOMは2024年5月22日(水)14:00～の予定です。(第4水曜日)